

<p>種名</p>	<p style="text-align: center;">ハ ヤ ブ サ</p> <p style="text-align: center;">Falco peregrinus</p> 													
<p>分類</p>	<p>ワシタカ目ハヤブサ科</p>													
<p>特徴</p>	<p>類に太いひげ状の黒色斑を持ち、上面が薄墨色の猛禽。ユーラシア大陸の大部分と北米大陸の寒帯から亜寒帯、オーストラリアなど世界の広い範囲で繁殖する。日本では北海道から九州で少数が繁殖し、その多くは留鳥だが、冬期に一部は暖地に移る。冬期には国外から渡来した個体も加わって少し数が増す。日本には4亜種が生息し、すべて特殊鳥類に指定されている。</p>													
<p>生活</p>	<p>広い空間で狩りをするため、海岸や海岸に近い山の断崖や急斜面、広い川原、原野、広い農耕地などを生活域とする。崖の上や見晴らしの良い木や杭などから空間を見張る。鳥が飛んでいるのを認めると飛び立ち、飛翔中の鳥の上空から翼をすぼめて急降下し、脚で蹴落とす。捕えた獲物は一定の食事場所の一つへ運んで食べる。獲物はヒヨドリ級の中形小鳥、ハト、カモ、シギ、チドリ、稀にネズミやウサギを地上で捕まえる。3月下旬～4月に、海岸や海岸に近い山地の断崖の岩棚に直接3～4卵を産む。抱卵日数は30日位、巣立ちまで40日位。</p>													
<p>声</p>	<p>繁殖期以外はほとんど鳴くことがない。繁殖地ではオスは「キッキッキッ」、メスは太い声で「ガッガッガッ」、「ゲゲゲゲ」と鳴く。</p>													
<p>見分け方</p>	<p>胸幅が広く、腹に成鳥では黒色横斑が密に、幼鳥では黒褐色縦斑がある。ハヤブサ類は翼先の尖った飛翔形を持つが、翼幅が広く、胸が太く見える。</p>													
<p>時期</p>	<p>暖地(月)</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>	<p>5</p>	<p>6</p>	<p>7</p>	<p>8</p>	<p>9</p>	<p>10</p>	<p>11</p>	<p>12</p>	
<p>その他</p>	<p>全長(L)</p>	<p>42cm</p>	<p>49cm</p>	<p>翼開長(W) 84～120cm</p>										
<p style="text-align: right;">参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>														